

# 横浜横須賀道路 釜利谷第二高架橋耐震補強工事

## 割掛対象表参考内訳書

- この割掛対象参考内訳書は、入札者の適正な施工計画検討に資するための参考資料であり、契約書第1条に示す設計図書ではない。
- 割掛対象参考内訳書は、請負契約上の拘束力を生じるものではなく、本工事の入札者は施工条件等を十分配慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
- この割掛対象参考内訳書の内容に関する質問は受け付けない。

令和 7年 7月

東日本高速道路株式会社 関東支社  
京浜管理事務所

【共通仮設費】

割掛対象表 の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
仮設材等運搬費 A	仮設材等（敷鉄板）の運搬に要する費用をいう。	【釜利谷 JCT 第一橋 敷鉄板 t =22mm、1524mm×6096mm】 運搬距離 L=22.1km（片道）9.6t	-
仮設材等運搬費 B	仮設材等（敷鉄板）の運搬に要する費用をいう。	【釜利谷第二高架橋 敷鉄板 t =22mm、1524mm×6096mm】 運搬距離 L=22.0km（片道）145.4t	-
仮設材等運搬費 C	構造物掘削特殊部で使用する切梁等の仮設材の運搬に要する費用をいう。	【釜利谷第二高架橋 P1 橋脚 上下線 切梁等山留材】 運搬距離 L=22.0km（片道）4.7t	-
仮設材等運搬費 D	構造物掘削特殊部で使用する切梁等の仮設材の運搬に要する費用をいう。	【釜利谷第二高架橋 P2 橋脚 上り 切梁等山留材】 運搬距離 L=22.0km（片道）6.0t	-
仮設材等運搬費 E	構造物掘削特殊部で使用する切梁等の仮設材の運搬に要する費用をいう。	【釜利谷第二高架橋 P2 橋脚 下り 切梁等山留材】 運搬距離 L=22.0km（片道）3.4t	-
非破壊検査試験費 （鉄筋かぶり）	コンクリート構造物の非破壊試験による鉄筋かぶり確認に要する費用をいう。	1) RC 巻き立て 釜利谷 JCT 第一橋 横向き 100 箇所 釜利谷 JCT 第二橋 横向き 40 箇所 釜利谷第二高架橋 横向き 24 箇所 2) 縁端拡幅 釜利谷 JCT 第一橋 横向き 1 箇所 釜利谷第二高架橋 横向き 2 箇所 3) 立壁増厚 釜利谷第二高架橋 横向き 3 箇所	-
剥離剤用環境対策 資機材費 A	塗膜剥離剤による有害物質を含む旧塗膜の除去工の施工に必要なとなる、簡易セキュリティルーム、エアシャワー・負圧集塵機、真空掃除機（フィルター交換に要する費用を含む）、吸気用ダクト及び換気用ダクトの設置に要する費用	【釜利谷 JCT 第二橋 BP4 橋脚】 剥離剤用環境対策資機材 負圧集塵機：5 台・月（最大処理風量 5～7m <sup>3</sup> /min） ・1 次フィルター：100 枚 ・2 次フィルター：20 枚 ・チャコールフィルター：5 枚 ・HEPA フィルター：5 枚 吸気用ダクト：20m 排気用ダクト：20m 真空掃除機：5 台・月 ・1 次フィルター：20 枚 ・2 次フィルター：5 枚 ・チャコールフィルター：5 枚 ・HEPA フィルター：5 枚 セキュリティルーム：1 基 ・エアシャワー：1 台・月 ・1 次フィルター：4 枚 ・チャコールフィルター：1 枚 ・HEPA フィルター：1 枚 設置期間：1 ヶ月	-

割掛対象表 の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
剥離剤用環境対策 資機材費 B	塗膜剥離剤による有害物質を含む旧塗膜の除去工の施工に必要な、簡易セキュリティールーム、エアシャワー・負圧集塵機、真空掃除機（フィルター交換に要する費用を含む）、吸気用ダクト及び換気用ダクトの設置に要する費用	<b>【釜利谷 JCT 第二橋 BA2 橋台】</b> 剥離剤用環境対策資機材 負圧集塵機：5 台・月（最大処理風量 5～7m3/min） ・1 次フィルター：100 枚 ・2 次フィルター：20 枚 ・チャコールフィルター：5 枚 ・HEPA フィルター：5 枚 吸気用ダクト：20m 排気用ダクト：20m 真空掃除機：5 台・月 ・1 次フィルター：20 枚 ・2 次フィルター：5 枚 ・チャコールフィルター：5 枚 ・HEPA フィルター：5 枚 セキュリティールーム：1 基 ・エアシャワー：1 台・月 ・1 次フィルター：4 枚 ・チャコールフィルター：1 枚 ・HEPA フィルター：1 枚 設置期間：1 ヶ月	-
剥離剤用安全衛生 保護具費 A	塗膜剥離剤による有害物質を含む旧塗膜の除去工の施工に必要な、呼吸用保護具（送気装置、フィルター交換に要する費用を含む）、使い捨て防護服（タイプ 4）、防護手袋及びシューズカバーに要する費用をいう。なお、呼吸用保護具本体はエアラインマスクとする。	<b>【釜利谷 JCT 第二橋 BP4 橋脚】</b> 呼吸用保護具本体（送気装置含む）：6 個 呼吸用保護具用フィルター：48 個 化学防護服：48 着 防護手袋：48 組 シューズカバー：48 個 必要期間：2 日	-
剥離剤用安全衛生 保護具費 B	塗膜剥離剤による有害物質を含む旧塗膜の除去工の施工に必要な、呼吸用保護具（送気装置、フィルター交換に要する費用を含む）、使い捨て防護服（タイプ 4）、防護手袋及びシューズカバーに要する費用をいう。なお、呼吸用保護具本体はエアラインマスクとする。	<b>【釜利谷 JCT 第二橋 BA2 橋台】</b> 呼吸用保護具本体は転用し、送気装置のみ計上：6 個 呼吸用保護具用フィルター：48 個 化学防護服：48 着 防護手袋：48 組 シューズカバー：48 個 必要期間：2 日	-

割掛対象表 の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
塗膜成分調査	既設鋼構造物の塗装に含まれる有害物質の含有量調査に要する費用をいう。	1) 調査箇所 釜利谷 JCT 第二橋 BP4 橋脚、BA2 橋台 上部工桁 部材取付位置 【合 計 2 箇所】※ボルト接合部含む 2) 試料採取量 0.5m <sup>2</sup> 程度/箇所 【採取箇所補修塗装】 3) 試料採取方法 乾式方法 4) 安全対策（採取作業） 安全眼鏡・保護手袋・防塵マスク・防塵衣類着用 5) 調査項目・試験方法 ・PCB 【試料溶液作製】 低濃度 PCB 含有廃棄物に関する測定方法（第5版） 第2章 8. 塗膜くず（含有量試験） 【含有量測定】 特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物の基準の検定方法（平成4年厚生省告示第192号別表第二 高分解能質量分析計(GC/HRMS)） ・鉛及びその無機化合物 JIS K 5674 : 鉛・クロムフリーさび止めペイント 付属書 A-塗膜中の鉛の定量 ・クロム酸及びクロム塩類 JIS K 5674 : 鉛・クロムフリーさび止めペイント 付属書 B-塗膜中のクロムの定量 ・コールタール コールタール成分（ベンゾ(a)ピレン濃度）からの換算法(岩田ら：塗膜（塗料）中のコールタール等有害物質調査方法の検討，防錆管理 Vol. 63, No. 4, pp. 138-141, (一社) 日本防錆技術協会, 2019. 04)	-

【準備工事費】

割掛対象表 の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
ヤード整備工事費 A	施工ヤード内の鉄板養生に要する費用。	<b>【釜利谷 JCT 第一橋】</b> 敷鉄板設置・撤去 数量 V=55.7m <sup>2</sup> 設置期間 7.3 ヶ月 参考図 88	○
ヤード整備工事費 B	工事進入路の鉄板養生、施工ヤードの鉄板養生、既設小川の仮排水管、仮囲い工(工事車両出入口含む)に要する費用。	<b>【釜利谷第二高架橋】</b> 敷鉄板設置・撤去 滑り止め有 数量 A=377.3m <sup>2</sup> 滑り止め無 数量 A=427.4m <sup>2</sup> 小川養生用 数量 A= 37.2m <sup>2</sup> 設置期間 7.0 ヶ月 仮設防護柵設置・撤去 H=1.0m、L=5.5m 仮囲い設置・撤去 H=3.0m、L=70.9m 設置期間 15.0 ヶ月	○

割掛対象表 の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
		小川仮排水管 φ150 L=23.9m 参考図 110～112	

【仮設備工事費】

割掛対象表 の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
足場工費 A	一般構造物の施工または橋梁下部工補修に必要な足場工に要する費用をいう。	<p>【釜利谷 JCT 第一橋 P1 橋脚】 下部工工事用足場 標準型 設置期間(共用日数) 1.3 ヶ月 単柱式橋脚(張出有) 10m未満 V=285.1 空 m3 参考図 71</p> <p>【釜利谷 JCT 第一橋 P2 橋脚】 下部工工事用足場 標準型 設置期間(共用日数) 1.3 ヶ月 単柱式橋脚(張出有) <math>10m \leq h &lt; 20m</math> V=333.7 空 m3 参考図 72</p> <p>【釜利谷 JCT 第一橋 P3 橋脚】 下部工工事用足場 標準型 設置期間(共用日数) 1.5 ヶ月 単柱式橋脚(張出有) <math>10m \leq h &lt; 20m</math> V=369.6 空 m3 参考図 73</p> <p>【釜利谷 JCT 第一橋 P5 橋脚】 下部工工事用足場 標準型 設置期間(共用日数) 1.5 ヶ月 単柱式橋脚(張出無) <math>10m \leq h &lt; 20m</math> V=377.4 空 m3 参考図 74</p> <p>【釜利谷 JCT 第一橋 P9 橋脚】 下部工工事用足場 標準型 設置期間(共用日数) 1.5 ヶ月 単柱式橋脚(張出無) <math>10m \leq h &lt; 20m</math> V=389.6 空 m3 参考図 75</p> <p>【釜利谷 JCT 第一橋 P10 橋脚】 下部工工事用足場 標準型 設置期間(共用日数) 0.4 ヶ月 単柱式橋脚(張出無) 10m未満 V=158.1 空 m3 参考図 76</p> <p>【釜利谷 JCT 第一橋 P12 橋脚】 下部工工事用足場 標準型 設置期間(共用日数) 1.3 ヶ月 単柱式橋脚(張出無) <math>10m \leq h &lt; 20m</math> V=364.9 空 m3 参考図 77</p> <p>【釜利谷 JCT 第一橋 P13 橋脚】 下部工工事用足場 標準型 設置期間(共用日数) 1.2 ヶ月 単柱式橋脚(張出無) <math>10m \leq h &lt; 20m</math> V=352.7 空 m3 参考図 78</p> <p>【釜利谷 JCT 第一橋 P14 橋脚】 下部工工事用足場 標準型 設置期間(共用日数) 1.2 ヶ月 単柱式橋脚(張出無) <math>10m \leq h &lt; 20m</math> V=340.3 空 m3 参考図 79</p> <p>【釜利谷 JCT 第一橋 P16 橋脚】 下部工工事用足場 標準型</p>	○

割掛対象表 の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
		<p>設置期間(共用日数) 0.4ヶ月 単柱式橋脚(張出有) 10m未満 V=218.6 空 m3 参考図 81</p> <p>【釜利谷 JCT 第一橋 A2 橋台】下部工工事用足場 標準型 設置期間(共用日数) 1.8ヶ月 10m未満 V=75.5 空 m3 参考図 86</p> <p>【釜利谷 JCT 第二橋 BP4 橋脚】下部工工事用足場 標準型 設置期間(共用日数) 2.0ヶ月 単柱式橋脚(張出有) 10m未満 V=340.6 空 m3 参考図 39</p> <p>【釜利谷 JCT 第二橋 BP5 橋脚】下部工工事用足場 標準型 設置期間(共用日数) 3.8ヶ月 単柱式橋脚(張出有) <math>20\text{m} \leq h &lt; 30\text{m}</math> V=625.4 空 m3 参考図 40</p> <p>【釜利谷 JCT 第二橋 BP6 橋脚】下部工工事用足場 標準型 設置期間(共用日数) 2.0ヶ月 単柱式橋脚(張出有) <math>10\text{m} \leq h &lt; 20\text{m}</math> V=339.2 空 m3 参考図 41</p> <p>【釜利谷第二高架橋 A1 橋台(下り)】下部工工事用足場 標準型 設置期間(共用日数) 1.8ヶ月 10m未満 V=21.6 空 m3 参考図 106</p> <p>【釜利谷第二高架橋 P1 橋脚(上り)】下部工工事用足場 標準型 設置期間(共用日数) 1.6ヶ月 単柱式橋脚(張出有) <math>20\text{m} \leq h &lt; 30\text{m}</math> V=1100.4 空 m3 参考図 106</p> <p>【釜利谷第二高架橋 P1 橋脚(下り)】下部工工事用足場 標準型 設置期間(共用日数) 2.3ヶ月 単柱式橋脚(張出有) <math>20\text{m} \leq h &lt; 30\text{m}</math> V=1113.0 空 m3 参考図 106</p> <p>【釜利谷第二高架橋 P2 橋脚(上り)】下部工工事用足場 標準型 設置期間(共用日数) 3.8ヶ月 単柱式橋脚(張出有) <math>10\text{m} \leq h &lt; 20\text{m}</math> V=568.3 空 m3 参考図 106</p> <p>【釜利谷第二高架橋 P2 橋脚(下り)】下部工工事用足場 標準型 設置期間(共用日数) 4.2ヶ月 単柱式橋脚(張出有) <math>10\text{m} \leq h &lt; 20\text{m}</math> V=577.2 空 m3 参考図 106</p> <p>【釜利谷第二高架橋 A2 橋台(上下線)】下部工工事用足場 標準型 設置期間(共用日数) 1.5ヶ月 10m未満 V=207.1 空 m3 参考図 106</p>	

割掛対象表 の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
		【釜利谷第二高架橋 A2 橋台(下り)】下部工工事用足場 標準型 設置期間(共用日数) 1.8 ヶ月 10m未満 V=15.1 空 m3 参考図 106	
足場工費 B	一般構造物の施工または橋梁下部工補修に必要な足場工を要する費用をいう。	【釜利谷 JCT 第一橋 P15 橋脚】下部工工事用足場 防護型 設置期間(共用日数) 0.4 ヶ月 単柱式橋脚(張出有) 10m未満 V=239.5 空 m3 参考図 80	○
支保工費 A	コンクリート構造物施工時、所定の形状のコンクリート構造物に仕上げるための、仮設の支保構造物に要する費用をいう。	<p>【釜利谷 JCT 第一橋 A2 橋台】くさび結合支保工 載荷荷重 3.2 t/m<sup>2</sup> 設置期間(供用日数) 1.8 ヶ月 高さ 3.6m V=11.7 空 m3 参考図 87</p> <p>【釜利谷第二高架橋 A1 橋台(下り)】くさび結合支保工 載荷荷重 2.9 t/m<sup>2</sup> 設置期間(供用日数) 1.8 ヶ月 高さ 4.0m V=1.9 空 m3 参考図 108</p> <p>【釜利谷第二高架橋 A2 橋台(下り)】くさび結合支保工 載荷荷重 2.9 t/m<sup>2</sup> 設置期間(供用日数) 1.8 ヶ月 高さ 2.5m V=0.9 空 m3 参考図 108</p>	○
支保工費 B	アラミド繊維巻立ての無収縮モルタル打設の為の仮設の支保構造物に要する費用をいう。	<p>【釜利谷第二高架橋 P2 橋脚(上り)】くさび結合支保工 載荷荷重 0.8 t/m<sup>2</sup> 設置期間(供用日数) 1.8 ヶ月 高さ 12.5m V=13.6 空 m3 参考図 109</p> <p>【釜利谷第二高架橋 P2 橋脚(下り)】くさび結合支保工 載荷荷重 2.7 t/m<sup>2</sup> 設置期間(供用日数) 1.8 ヶ月 高さ 11.8m V=12.9 空 m3 参考図 109</p>	○
移動足場工費	一般構造物の施工または橋梁下部工補修等に必要な移動足場工に要する費用をいう。	【釜利谷 JCT 第二橋 P5 橋脚】 トラック架装リフト(デッキ旋回・ブーム型) 揚程 10m~12m 未満 5 台・日 参考図 43	○
吊足場工費 (標準型側面) A	橋梁の施工に必要な主体足場及び標準型側面(側面足場に防護が無い構造)の吊足場工に要する費用をいう。	【釜利谷 JCT 第一橋 A1 橋台】 A1 主体足場 H≥1.5m A=58.1m <sup>2</sup> 参考図 82 橋梁補修用足場設置期間(供用日数) 4.5 ヶ月	○

割掛対象表 の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
吊足場工費 （標準型側面）B	橋梁の施工に必要な主体足場及び標準型側面（側面足場に防護が無い構造）の吊足場工に要する費用をいう。	【釜利谷 JCT 第一橋 A2 橋台】 A2 主体足場 $H \geq 1.5\text{m}$ $A=59.7\text{m}^2$ 参考図 85 橋梁補修用足場設置期間（供用日数） 4.5 ヶ月	○
吊足場工費 （標準型側面）C	橋梁の施工に必要な主体足場及び標準型側面（側面足場に防護が無い構造）の吊足場工に要する費用をいう。	【釜利谷 JCT 第二橋 BP4 橋脚】 主体足場 $H \geq 1.5\text{m}$ $A=48.8\text{m}^2$ 参考図 42 橋梁補修用足場設置期間（供用日数） 5.0 ヶ月	○
吊足場工費 （標準型側面）D	橋梁の施工に必要な主体足場及び防護型側面（側面足場に防護がある構造）の吊足場工に要する費用をいう。	【釜利谷第二橋高架橋 P1 橋脚(上下線)】 A2 主体足場 $H \geq 1.5\text{m}$ $A=90.2\text{m}^2$ 参考図 107 橋梁補修用足場設置期間（供用日数） 5.6 ヶ月	○
吊足場工費 （標準型側面）E	橋梁の施工に必要な主体足場及び標準型側面（側面足場に防護が無い構造）の吊足場工に要する費用をいう。	【釜利谷第二橋高架橋 P2 橋脚(上下線)】 A2 主体足場 $H \geq 1.5\text{m}$ $A=90.2\text{m}^2$ 参考図 107 橋梁補修用足場設置期間（供用日数） 5.6 ヶ月	○
吊足場工費 （標準型側面）F	橋梁の施工に必要な主体足場及び標準型側面（側面足場に防護が無い構造）の吊足場工に要する費用をいう。	【釜利谷第二橋高架橋 A2 橋台(上下線)】 A2 主体足場 $H \geq 1.5\text{m}$ $A=178.5\text{m}^2$ 参考図 107 橋梁補修用足場設置期間（供用日数） 6.3 ヶ月	○
吊足場工費 （標準型側面）G	橋梁の施工に必要な主体足場及び標準型側面（側面足場に防護が無い構造）の吊足場工に要する費用をいう。	【釜利谷 JCT 第一橋 P4 橋脚】 主体足場 $H \geq 1.5\text{m}$ $A=133.0\text{m}^2$ 参考図 83 橋梁補修用足場設置期間（供用日数） 5.0 ヶ月	○
吊足場工費 （防護型側面）A	橋梁の施工に必要な主体足場及び防護型側面（側面足場に防護がある構造）の吊足場工に要する費用をいう。	【釜利谷 JCT 第一橋 P15 橋脚】 P15 主体足場 $H \geq 1.5\text{m}$ $A=146.4\text{m}^2$ 参考図 84 橋梁補修用足場設置期間（供用日数） 4.8 ヶ月	○
吊足場工費 （防護型側面）A （夜）	橋梁の施工に必要な主体足場及び防護型側面（側面足場に防護がある構造）の吊足場工に要する費用をいう。	【釜利谷 JCT 第二橋 BA2 橋台】 A2 主体足場 $H \geq 1.5\text{m}$ $A=91.8\text{m}^2$ 参考図 44 橋梁補修用足場設置期間（供用日数） 5.0 ヶ月	○
吊足場工費 （防護型側面）B	橋梁の施工に必要な主体足場及び防護型側面（側面足場に防護がある構造）の吊足場工に要する費用をいう。	【釜利谷第二橋高架橋 A1 橋台(上下線)】 A1 主体足場 $H \geq 1.5\text{m}$ $A=178.3\text{m}^2$ 参考図 107 橋梁補修用足場設置期間（供用日数） 6.3 ヶ月	○
昇降足場費 A	橋梁の吊足場工への移動に必要な昇降足場に要する費用をいう	【釜利谷 JCT 第一橋 A1 橋台】 設置期間（供用日数） 4.5 ヶ月 高さ 10m 未満 $V=30.5$ 空 $\text{m}^3$ 参考図 82	○
昇降足場費 A (夜)	橋梁の吊足場工への移動に必要な昇降足場に要する費用をいう	【釜利谷 JCT 第二橋 BA2 橋台】 設置期間（供用日数） 5.0 ヶ月 高さ 10m 未満 $V=21.6$ 空 $\text{m}^3$ 参考図 44	○



割掛対象表 の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
昇降足場費B	橋梁の吊足場工への移動に必要な昇降足場に要する費用をいう	【釜利谷 JCT 第二橋 BP4 橋脚】 設置期間（供用日数） 5.0 ヶ月 高さ 10m 以上～20m 未満 V=45.5 空m3 参考図 42	○
昇降足場費C	橋梁の吊足場工への移動に必要な昇降足場に要する費用をいう	【釜利谷 JCT 第一橋 P15 橋脚】 設置期間（供用日数） 4.8 ヶ月 高さ 10m 以上～20m 未満 V=45.2 空m3 参考図 84	○
昇降足場費D	橋梁の吊足場工への移動に必要な昇降足場に要する費用をいう	【釜利谷 JCT 第一橋 A2 橋台】 設置期間（供用日数） 1.0 月 高さ 10m 未満 V=25.4 空m3 参考図 85	○
昇降足場費E	橋梁の吊足場工への移動に必要な昇降足場に要する費用をいう	【釜利谷第二高架橋 A1 橋台（上下線）】 設置期間（供用日数） 6.3 ヶ月 高さ 10m 未満 V=16.0 空m3 参考図 107	○
昇降足場費F	橋梁の吊足場工への移動に必要な昇降足場に要する費用をいう	【釜利谷第二高架橋 P1 橋脚（上下線）】 設置期間（供用日数） 5.6 ヶ月 高さ 20m 以上～30m 未満 V=107.1 空m3 参考図 107	○
昇降足場費G	橋梁の吊足場工への移動に必要な昇降足場に要する費用をいう	【釜利谷第二高架橋 P2 橋脚（上下線）】 設置期間（供用日数） 5.6 ヶ月 高さ 10m 未満 V=38.4 空m3 参考図 107	○
昇降足場費H	橋梁の吊足場工への移動に必要な昇降足場に要する費用をいう	【釜利谷第二高架橋 A2 橋台（上下線）】 設置期間（供用日数） 6.3 ヶ月 高さ 10m 未満 V=6.9 空m3 参考図 107	○
昇降足場費I	橋梁の吊足場工への移動に必要な昇降足場に要する費用をいう	【釜利谷 JCT 第一橋 P4 橋脚】 設置期間（供用日数） 5.0 ヶ月 高さ 10m 以上～20m 未満 V=44.7 空m3 参考図 83	○
剥離剤用養生設備工 費A	塗膜剥離剤による有害物質を含む旧塗膜の除去工の施工に必要な、吊り足場の床面及び側面に、シート張防護を設置する作業に要する費用をいう。	【釜利谷 JCT 第二橋 BP4 橋脚】 剥離剤用養生設備 橋梁の形式：鋼箱桁 養生シート面積：48.8m2 設置期間：1.0 ヶ月 参考図 42	○
剥離剤用養生設備工 費A（夜）	塗膜剥離剤による有害物質を含む旧塗膜の除去工の施工に必要な、吊り足場の床面及び側面に、シート張防護を設置する作業に要する費用をいう。	【釜利谷 JCT 第二橋 BA2 橋台】 剥離剤用養生設備 橋梁の形式：鋼箱桁 養生シート面積：91.8m2 設置期間：1.0 ヶ月 参考図 44	○

【雑工事費】

割掛対象表 の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
鉄筋位置調査工	非破壊検査にて鉄筋の配置間隔 や深さを調査し、完成図との整 合を確認するとともに削孔位置 確定するための既設鉄筋位置調 査に要する費用をいう。	1) 落橋防止構造 釜利谷 JCT 第一橋 51.1m <sup>2</sup> 釜利谷 JCT 第二橋 4.6m <sup>2</sup> 2) 横変位拘束構造 釜利谷 JCT 第二橋 3.2m <sup>2</sup> 3) 中間貫通鋼材 釜利谷 JCT 第一橋 21.0m <sup>2</sup> 釜利谷第二高架橋 25.4m <sup>2</sup> 4) R C 巻き立て補強(基部定着) 釜利谷 JCT 第一橋 19.3m <sup>2</sup> 5) 縁端拡幅 釜利谷 JCT 第一橋 12.6m <sup>2</sup> 釜利谷第二高架橋 3.3m <sup>2</sup> 6) 立壁増厚 釜利谷第二高架橋 195.4m <sup>2</sup> 7) 支承取替 釜利谷第二高架橋 84.6m <sup>2</sup> 8) 制震構造 釜利谷第二高架橋 59.2m <sup>2</sup> 9) 段差防止構造 釜利谷第二高架橋 3.9m <sup>2</sup>	-